

令和2年度

公益財団法人いわき市教育文化事業団決算書  
(抜粋)

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

公益財団法人いわき市教育文化事業団

# 目 次

|                   | ページ |
|-------------------|-----|
| ・ 事 業 報 告 書 ..... | 1   |
| ・ 決 算 報 告 書 ..... | 13  |

# 事業報告書

# 目 次

|                                  | ページ |
|----------------------------------|-----|
| I 概 況                            |     |
| 1 総 括 事 項 .....                  | 3   |
| II 業 務                           |     |
| 1 文化財部門（公1 埋蔵文化財の発掘調査事業）         |     |
| (1) 文化財発掘調査 .....                | 4   |
| (2) 埋蔵文化財啓発活動 .....              | 4   |
| 2 施設部門（公2 教育文化施設の管理運営事業）         |     |
| (1) いわき市立草野心平記念文学館及び草野心平生家 ..... | 5   |
| (2) いわき市暮らしの伝承郷 .....            | 5   |
| (3) いわき市勿来関文学歴史館 .....           | 6   |
| (4) いわき市アンモナイトセンター .....         | 6   |
| (5) いわき市考古資料館 .....              | 7   |
| (6) 福島県いわき海浜自然の家 .....           | 7   |
| (7) いわき市生涯学習プラザ .....            | 8   |
| 3 管理部門（法人会計） .....               | 9   |
| III 評議員会・理事会に関する事項               |     |
| 1 評 議 員 会 .....                  | 10  |
| 2 理 事 会 .....                    | 10  |
| 3 監 査 .....                      | 10  |
| 4 役員等に関する事項 .....                | 10  |
| IV 職員に関する事項                      |     |
| 1 事 務 局 .....                    | 11  |
| 2 施 設 .....                      | 11  |

# I 概 況

## 1 総括事項

令和2年度は、本事業団の設立から43年目、公益法人に移行後7年目にあたる。これまで同様、公益法人としての役割を認識し、専門性を活かすとともに、新型コロナウイルス（以下「新型コロナ」という。）感染症の感染拡大防止に十分意を用いながら、職員一丸となって市・県民の心の支えとなるように事業を展開した。

理事会は6回、評議員会は3回開催し、財務に関しては収支相償に留意しながら、公正・公平で透明な事業運営に努めた。

文化財部門は、市内の発掘調査が激減するなか、双葉郡内の檜葉町・広野町や伊達市・本宮市・矢祭町など市外自治体からの事業受託が主体となった。事業量は、前年度より2件増の12件、収入額は約1億7,000万円で、約7,600万円の増となった。

施設部門は、生涯学習プラザが新たに令和6年度までの5か年の指定管理を開始し、計8施設の指定管理者として、企画展や体験学習などの事業を展開した。

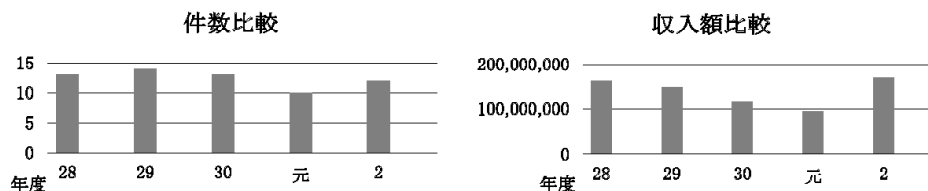
しかしながら、一年を通して新型コロナ感染拡大防止を図るため、施設の利用停止や事業の中止・延期を相次いで行ったことから、全施設の年間利用者は前年度比57.4%となった。

なお、施設の休館期間中は、利用者に事業の延期、中止などを丁寧に周知するとともに、感染拡大防止を念頭に、再開館後の施設運営に向けて様々な準備業務を行った。

本年度の収入は全体で約6億3,512万円となり、経費の節減等に努めた結果、約1,226万円の黒字決算となった。

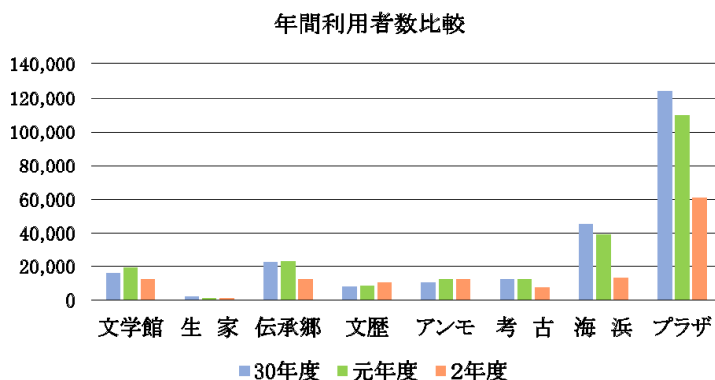
○ 発掘調査事業契約件数と収入額の年度別比較（平成28年度～令和2年度）

| 年度             | 28          | 29          | 30          | 元          | 2           |
|----------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|
| 契約件数<br>(単位：件) | 13          | 14          | 13          | 10         | 12          |
| 収入額<br>(単位：円)  | 162,388,800 | 148,185,720 | 116,742,600 | 93,946,360 | 169,944,500 |



○ 施設年間利用者数比較（平成30年度～令和2年度）

|      | 文学館    | 生家    | 伝承郷    | 文歴     | アンモ    | 考古     | 海浜     | プラザ     | 合計      |
|------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 30年度 | 15,787 | 1,571 | 22,424 | 7,494  | 9,729  | 12,204 | 45,020 | 123,958 | 238,187 |
| 元年度  | 19,247 | 1,116 | 22,565 | 8,016  | 12,226 | 11,723 | 38,808 | 109,705 | 223,406 |
| 2年度  | 12,084 | 915   | 12,202 | 10,005 | 12,242 | 6,881  | 13,137 | 60,768  | 128,234 |



## Ⅱ 業 務

### 1 文化財部門（公1 埋蔵文化財の発掘調査事業）

#### (1) 文化財発掘調査

##### ア 事業について

令和2年度に受託した事業は12件で、内訳は、いわき市内が6件（発掘調査1件、市内試掘調査1件（9遺跡）、確認調査1件、資料整理・報告書作成2件、文献調査1件）、市外が6件（発掘調査：伊達市1件、本宮市1件、檜葉町1件 資料整理・報告作業：矢祭町1件、檜葉町1件、広野町1件）である。

屋外での作業となる発掘調査でも新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に講じつつ、安全を第一に心掛けて業務にあたった。

主な調査成果は、平城跡の発掘調査においては、本丸跡から戊辰戦争時における焼土層及び本丸御殿の礎石や柱穴などが検出されたことが特筆される。併せて、多量の陶磁器・瓦が出土している。また、隣接地での確認調査では、御殿南側から池跡や水路などが確認された。

梅ノ作瓦窯跡群の確認調査では、7世紀後半頃の須恵器窯跡を検出し、杯・蓋・高台付杯・甕・盤・硯などの器種が出土している。

市外の調査については、檜葉町馬場前遺跡で縄文時代中期及び奈良時代の集落跡が、本宮市大学館跡では中世館跡に関する数条の堀跡や柱穴が検出された。

報告書は、概報・試掘調査報告書を含め7冊（市内3冊、市外4冊）を刊行した。

#### (2) 埋蔵文化財啓発活動

##### ア 企画展等・現地説明会

| No. | 実施月日                                     | 実施項目                                      | 内 容  |
|-----|--|---|--|
| 1   | 5月17日(日)<br>～7月12日(日)                    | 令和2年度第1回企画展<br>「令和元年度発掘速報展」<br>(主催 考古資料館) | 平成元年度に調査または報告書作成作業を行った遺跡のうち、10遺跡11件の調査成果を公開し、いわきの歴史について最新の情報を提供した。<br>入館者 613名                 |
|     | 5月17日(日)中止                               | 遺跡報告会                                     | 調査担当員による令和元年度の発掘調査成果の報告を予定していたが、臨時休館のため中止。   |
|     | 5月17日(日)<br>～6月14日(日)<br>計3回<br>(うち2回中止) | 展示解説会                                     | 考古資料館長による第1回企画展「令和元年度発掘速報展」の展示解説を実施した。<br>5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。<br>参加者 11名                  |
| 2   | 9月26日(土)<br>午前10時～12時<br>午後1時～3時         | 磐城平城跡現地説明会<br>(主催 いわき市教育委員会)              | 公園整備に先立って実施された磐城平城本丸跡の調査成果を報告した。<br>本丸御殿の礎石やトイレ跡のほか、18～19世紀の陶磁器や瓦などについて、担当職員が説明した。<br>参加者 200名 |

## 2 施設部門（公2 教育文化施設の管理運営事業）

### (1) いわき市立草野心平記念文学館及び草野心平生家

#### ア 事業について

##### いわき市立草野心平記念文学館

令和2年度の入館者は12,084名、前年度比7,163名の減となった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月18日から5月20日まで臨時休館し、年間開館日数は281日間であった。

令和2年度は、春、夏、秋、冬と4つの企画展を開催した。

春の企画展「草野心平の詩 天へのまなざし」は、心平の天の詩をあらためて取り上げ、自筆原稿、随筆、書籍などの関連資料を展覧しながら、作品の奥深い魅力を紹介した。夏の企画展「没後90年 童謡詩人金子みすゞ展」は、「幻の童謡詩人」とも呼ばれたみすゞの生涯と作品の魅力を紹介した。秋の企画展「草野心平と棟方志功 ～わだばゴッホになる」は、心平が「けた外れの善意と仕事」とも評した志功との関わりや、いわきゆかりの志功の作品を紹介した。冬の企画展「映画館の記憶 聚楽館をめぐる」は、明治から平成にかけて営業していた聚楽館の関連資料を展覧し、当時のいわきの映画文化とともに紹介した。

スポット展示は、「猪狩満直」・「草野心平の童話」・「吉野せい」・「草野天平」を開催し、心平の創作活動の一面やいわきゆかりの文学者、資料、交友を紹介した。また、2020年度NHK連続テレビ小説「エール」で古閑裕而が主人公のモデルとなったことにちなみ、タイムリースポット展示「草野心平と古閑裕而」を開催した。

普及活動では、夜間開館時や週末を中心に演奏会などを開催し、文学や芸術にふれる場を提供した。あわせて、「アクアマリンふくしま移動水族館」、小川中学校吹奏楽部による「アトリウムコンサート」などで文学館が立地する小川地区の団体と連携を図った。

##### いわき市草野心平生家

年間入館者数は915名、前年度比201名の減、4月18日から5月20日まで臨時休館し、年間開館日数は281日間であった。

通常の開館時はボランティアの会員が心平と故郷の関わりを解説し、親子連れなどが楽しめるワークショップ「カエルのクラフトワークショップ」をはじめ、地元の子どもたちによる「子どもじゃんがら」、心平を顕彰する「心平忌・心平を語る会」などを開催した。

### (2) いわき市暮らしの伝承郷

#### ア 事業について

令和2年度の入園者数は12,202名、前年度比10,363名の減となった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月18日から5月20日まで臨時休館し、年間開館日数は285日間であった。

伝承郷の中心事業である景観復元・伝承・管理作業は、「昔の暮らしの景観復元と伝承」をコンセプトに実施し、令和2年度も畑作・里山作りのほか、干し柿作りなど古民家の生活復元展示を実施した。畑作については、栽培する野菜や道具なども、景観復元展示の一環と位置付け、極力、昔の方法・道具を取り入れながら実施した。

常設展示では、見学資料として、ワークシート「ワクワク探検in伝承郷」を通年で配布した。

学習管理棟の休憩コーナーでは、季節の年中行事に合わせた民具展示のほか、「ロビー展」として「いわきの鳥小屋今昔展」・「フラワーアレンジメント作品展」・「マスクと消しゴムはんこ展」などを実施した。また、伝承郷収蔵の農具を用いた脱穀作業の動画をタブレットで自動再生し、来園者に観ていただいた。

企画展では、企画展「収蔵品展一灯りの道具一」を開催した。

講演会は、「三和の針仕事『おじょんこ』について」をはじめ、館長講座などを全11回開催した。

体験学習(主催)では、「民話の語り」・「伝承郷で見つける自由研究」や「布ぞうり

作り」・「正月飾り作り」など、季節に合わせた内容で年間20回実施した。また「脱穀体験」・「石臼体験」などの学校向け体験や「キッズ民話語り部教室」など、小中学生対象の体験も多く実施した。

伝承郷行事では、年中行事の再現展示や伝統芸能実演など、伝統芸能の継承・伝承の機会を提供した。

そのほか、ボランティア育成、資料収集・整理作業、民俗調査・レファレンスなどを実施した。

共催として、「木よう体験教室」・「フラワーアレンジメント体験教室」・「遠野和紙作り体験」・「里山の暮らし体験」など多くの事業を実施し、新たな来園者を開拓する機会となった。

### (3) いわき市勿来関文学歴史館

#### ア 事業について

令和2年度の入館者は10,005名、前年度比1,989名の増となった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月18日から5月20日まで臨時休館し、年間開館日数は319日であった。

令和2年度は、3つの企画展、1つの特別展を開催した。

第1回企画展「斎藤茂吉と長塚節～勿来の関を訪れた歌人たち～」は、勿来の関を訪れた歌人斎藤茂吉、長塚節といわきとの関わりを紹介する展示で、二人の新たな魅力を紹介することができた。当初、4月18日からの開展予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月21日からとなった。また、講演会とギャラリートークは中止とした。

第2回企画展「刀・刀・刀～いわきの刀剣～」は、いわき市に所在する県指定・市指定文化財の刀剣及びいわき市石炭化石館所蔵の赤羽刀を紹介し、市民の関心の高い展示会となった。あわせて企画展関連の対談を実施し、企画展への理解を深めることができた。

第3回企画展「鈴木寿山～いわきの近代日本画家～」は、いわき市渡辺町ゆかりの日本画家鈴木寿山の作品や書簡などを展観し、その生涯を紹介する展示で、令和元年に市指定となった有形文化財「絹本著色勿来関詠歌の図」などを公開した。企画展の関連事業として実施した講演会も好評を博した。

特別展「佐藤安太～いわきの生んだおもちゃ王～」は、(一財)日本玩具文化財団との共催で実施した。いわき市三和町出身の実業家佐藤安太(タカラ創業者)の生涯を紹介する展示会で、安太が開発に関わった様々なおもちゃを展示した。

スポット展示は、①徹底解説「鳥獣戯画」(令和元年度からの継続)、②「松井秀簡」の2つである。②は初公開の資料をもとに、戊辰戦争の際に非戦を説いた泉藩の郡奉行松井秀簡の生涯を紹介した。市民ギャラリーの活用では、5団体が利用した。

普及活動では、「夏休みクラフト教室」・「冬休みクラフト教室」・「春休みクラフト教室」を実施した。親子での参加が多く、世代間の交流を通してものづくりの楽しさを体験することができた。勿来地区との連携としては、「勿来関歌会」・「勿来八景フォトコンテスト」へ館長賞を授与し、さらに作品の展示会場を提供した。

### (4) いわき市アンモナイトセンター

#### ア 事業について

令和2年度の入館者数は12,242名、前年度比16名の増となった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月18日から5月20日まで臨時休館し、年間開館日数は285日間であった。

夏休み期間中の8月は体験発掘を事前予約制で一日4回実施(上限50人)としたため、春から夏にかけて入館者数が伸び悩んだ。一方で、9月から11月の入館者数は、台風や大雨にみまわれた令和元年度に比べて増加したことから、一年間を通しての入館者数は前年度比100.1%とほぼ同等となった。例年の利用者数が伸び悩む晩秋



～冬季(第3四半期後半～第4四半期)については、令和2年度も平年と同様に推移しており、同時期における利用者増に向けた試みが依然として課題となっている。

小・中学校の夏休み・冬休み期間をターゲットとして開催した企画展における入館者数は、夏休み企画展で3,524名(前年度比288名減)、冬休み企画展で558名(前年度比105名減)となった。企画展会期中に実施したミニ発掘体験(西アフリカ産の水晶ジオード発掘体験)は、取り出した本物の標本を持ち帰ることができることもあり、これらを目的として来館する利用者も多かった。

さらに、地元である久之浜・大久地区との連携事業としての「化石講演会」、啓発事業としての「親子自然探訪教室」を実施した。

## (5) いわき市考古資料館

### ア 事業について

令和2年度の利用者は6,881名、前年度比4,842名の減となった。内訳は入館者数が5,921名で前年度比2,797名の減、出前講座などの館外利用者数が25件960名で前年度比、件数は同数、2,045名の減となった。また、団体入館者数は22件551名で、前年度比24件921名の減となった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月18日から5月20日まで臨時休館し、年間開館日数は320日間であった。

展示会は、企画展4回とミニ企画展2回のほか、特別展1回の計7回開催した。

講座・講演会は、「いわきの考古学講座」6回、「自由研究に挑戦しよう!!」1回、「ボランティア養成講座」3回、企画展・特別展に合わせた講演会や解説会・探訪会13回の計23回開催した。

体験学習会は、「いわきキッズミュージアム」・「古代まつり」・「干支の埴輪づくり体験会」・「勾玉づくり体験会」・「バレンタインデー特別体験学習会」の5事業17日間開催した。

問い合わせ、レファレンス対応では、収蔵資料の閲覧・調査13件、同貸出8件、市民などからの問い合わせ・相談8件など、市民及び研究者や学生、関係機関の要望に対応した。また、8月には3名の学芸員実習を実施した。

また、ホームページやフェイスブックを利用し、広報の充実に努めた。

## (6) 福島県いわき海浜自然の家

### ア 事業について

令和2年度の利用は281団体、延べ利用者13,137名で、利用者予測の47,000名を大幅に下回った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、所管課である福島県教育庁社会教育課の指示により、前年度の3月4日から引き続いて、(4月1日から)4月20日まで個人の日帰り屋外利用のみを受け入れたが、4月21日から5月15日までは全ての利用受け入れを停止した。令和元年度(475団体・38,808名)と比較すると、受け入れの制限や団体の活動自粛の影響により、団体数で59.1%、延べ利用者数で33.9%となった。年間開所日数は291日間であった。

学校教育団体のうち、小学校の宿泊活動については、当初は夏休み期間を除いた5月下旬から10月中旬までの受け入れを計画していたが、多くがキャンセルまたは2学期開始の8月下旬から11月下旬の期間に変更となったため、年間計画の臨時開所日と振替休所日を変更して対応した。最終的に、114団体(延べ利用者数8,636名)の利用があった。

主催事業では、新型コロナウイルスの影響で「春のオープンデー」などの4事業を中止したが、追加を含めた8事業を事前予約の定員制で実施した。特に、「未来キッズ生き生き事業」は、子どもたちに自然体験活動の機会を多く提供するため回数を増やし、内容も屋外で家族と一緒に活動できるプログラムとしたことで好評を得た。

連携事業では、市内公民館の出前講座などとの連携を図り、利用者の拡大に努めた。県内の各自然の家との連携事業については、新型コロナウイルスのため参加を中止した。

これら各種事業の広報については、市内の幼稚園・小学校などへチラシ・ポスターを配布し、四倉及び久之浜・大久各支所経由による回覧板も活用した。ホームペ

ージにおいても、事業案内及び実績報告などを随時掲載して広く県民への周知を図り、フェイスブックでの情報発信も開始した。

施設管理に関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のマニュアルを定め、利用者が安全に、安心して利用できるよう努めた。

## (7) いわき市生涯学習プラザ

### ア 事業について

令和2年度の利用者は60,768名で、前年度比48,937名の減となった。また、施設使用許可申請は2,752件で488件の減となった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月18日から5月31日まで臨時休館し、年間開館日数は305日間であった。

市民講座は、年間47の講座を実施した。生涯学習プラザ講座のほか、ボランティア活用事業として、子育て支援ボランティアによる「クリスマス☆ブーツ」「まとあて、ゆみ・や」やITボランティアリーダーによるパソコン講座を毎月開催し、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対応した講座を提供した。さらに、サークル・団体が実施するサークル企画講座では、「朗読教室」・「楽しい朗読」・「歌唱法講座」・「水墨画体験」を延べ7講座開催した。

全市的な事業として広く市民に浸透している「いわきヒューマンカレッジ(市民大学)」は、「健康福祉学部」・「実践心理学部」・「SDGs入門学部」・「いわき学部」の4学部を開設し、183名の入学者があった。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により各学部とも定員を50名に絞ったが、ほぼ定員に近い受講者数となり、市民の学習ニーズにあった学部を開講できた。

第16回「生涯学習フェスティバル」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、開催を中止した。

いわきヒューマンカレッジの運営や講座の開催にあたっては、いわき市生涯学習支援ボランティアの会の支援により円滑に運営することができた。

広報に関しては、年間事業案内のほか、講座・イベントごとの詳細な案内チラシを作成し、市内公共施設での配布のほか、ホームページや、フェイスブックなどのメディアで情報提供を行った。また、利用者懇談会やアンケート調査でモニタリングを重ね、市民目線に立った効率的な管理運営に努めた。

### 3 管 理 部 門 （ 法 人 会 計 ）

#### (1) 組織運営について

##### ○組織運営

職員の退職等に伴う専門職員（学芸員・研究員）の定数補充のため、令和2年4月1日付及び5月1日付で3名の職員を採用した。今後とも、退職状況を見極めながら、財団の持つ専門性の強化と、さらなる組織の活性化を図っていく。

##### ○指定管理受託

いわき市生涯学習プラザは、引き続き5か年（令和2年4月1日から令和7年3月31日）の指定管理者に選定された。

##### ○福利厚生

常勤職員に対して健康診断・人間ドックを実施し、診断結果によっては速やかな再検査等を指導し、職員の健康増進に努めた。

##### ○新型コロナ感染拡大防止

新型コロナ感染拡大防止対策を周知、徹底するとともに、職場内での分散勤務等を行った。さらに各施設においては、消毒液や検温器を設置するとともに、利用者票への記入によって利用者間の感染拡大防止に努めた。

#### (2) 人材育成について

##### ○基本研修

ふくしま自治研修センターによる各種研修に13名を派遣したほか、財団独自に係長以上を対象とした「管理職研修」を開催した。また、いわき労働基準協会主催の安全関係講習等も活用し、職場の安全向上に努めた。

##### ○自主研修制度

自主研修は1名が実施した。図書購入補助は、18名が専門書等の購入補助を申請した。なお、新型コロナの影響により減少する研修機会を補完するため、図書購入補助額を引き上げた。

##### ○研究紀要の刊行

職員の資質の向上と調査研究の成果を市民に還元することを目的としている「研究紀要」は、第18号を刊行した。内容は、化石・考古・民俗・文学・歴史の各分野からなり、6編の原稿を収録した。

#### (3) 情報発信について

財団ホームページに、財務諸表及び指定管理受託施設の事業計画や「出前講座」の募集等の情報を掲出した。また、「年報－令和元年度－」を刊行し、関係機関等に配布するなど、情報の発信に努めた。

また、学校の長期休暇期間中の各施設の事業については、共同でチラシを作製して市内の保育園・幼稚園・小学校及び社会教育施設等に配付することで、参加者増に努めた。

#### (4) 啓発事業について

出前講座は、8団体(公民館4、その他4)から計16回の依頼があり、うち2回は新型コロナ感染拡大防止のため中止となった(受講者数は延べ410人)。

「たからものずかん」は、事務局調査係が編集を担当し、第8巻『いわきの古墳時代Ⅰ－古墳編－』を刊行した。小学校や各種施設に配付するとともに、来館者等への解説に使用することを想定している。

### Ⅲ 評議員会・理事会に関する事項

#### 1 評議員会

| 区分         | 議案番号              | 件名                                       | 提出年月日     | 議決年月日     |
|------------|-------------------|--|-----------|-----------|
| 臨時<br>書面決議 | 第1号               | 評議員の選任について                               | 令和2年4月10日 | 令和2年4月10日 |
| 定時         | 第1号<br>第2号<br>第3号 | 令和元年度決算の承認について<br>理事の選任について<br>監事の選任について | 令和2年6月25日 | 令和2年6月25日 |
| 臨時<br>書面決議 | 第1号<br>第2号        | 評議員の選任について<br>理事の選任について                  | 令和3年3月22日 | 令和3年3月22日 |

#### 2 理事会

| 区分          | 議案番号                     | 件名  | 提出年月日      | 議決年月日      |
|-------------|--------------------------|---|------------|------------|
| 第1回         | 第1号<br>第2号               | 令和元年度決算の承認について<br>令和2年度定時評議員会の招集について                                    | 令和2年5月28日  | 令和2年5月28日  |
| 第2回<br>書面決議 | 第1号                      | 理事長、副理事長及び常務理事の選定について   | 令和2年6月25日  | 令和2年6月25日  |
| 第3回<br>書面決議 | 第1号                      | 給与等に関する規程及び定年退職者の再雇用に関する規程の改正について                                       | 令和2年11月30日 | 令和2年11月30日 |
| 第4回         | -                        | 議案なし（経過報告のみ）  | 令和2年12月24日 | 令和2年12月24日 |
| 第5回<br>書面決議 | 第1号                      | 令和2年度臨時評議員会の招集について  | 令和3年2月25日  | 令和3年2月25日  |
| 第6回         | 第1号<br>第2号<br>第3号<br>第4号 | 令和3年度事業計画及び収支予算について<br>常務理事の選定について<br>事務局長の選定について<br>令和3年度臨時評議員会の招集について | 令和3年3月24日  | 令和3年3月24日  |

#### 3 監査

| 区分          | 件名                 | 開催年月日     | 会場              |
|-------------|--------------------|-----------|-----------------|
| 事前監査        | 令和元年度決算審査についての事前監査 | 令和2年5月15日 | 考古資料館           |
| 第42回<br>監事会 | 令和元年度決算審査について      | 令和2年5月20日 | いわき市役所<br>財政部長室 |

#### 4 役員等に関する事項

評議員7名、理事8名、監事3名

| 区分 | 年月日       | 役職名・氏名                              | 備考 |
|----|-----------|-------------------------------------|----|
| 就任 | 令和2年4月11日 | 評議員 渡邊 一弘                           |    |
|    | 令和3年3月23日 | 評議員 村木 亨                            |    |
| 辞任 | 令和2年4月30日 | 評議員 山崎 京美                           |    |
|    | 令和3年3月31日 | 副理事長 吉田 尚<br>常務理事 石井 和一<br>監事 澤田 洋一 |    |

#### IV 職員に関する事項

令和3年3月31日現在

##### 1 事務局

括弧内数字：兼務職員数 単位：名

| 区分    | 事務局長<br>同相当職 | 次長<br>同相当職 | 係長<br>同相当職 | 主任職 | 係員 | 嘱託<br>職員 | 日々雇用<br>職員 | 計         |
|-------|--------------|------------|------------|-----|----|----------|------------|-----------|
| 事務局   | 1            | 1          | —          | —   | —  | —        | —          | 2         |
| 企画管理係 | —            | 1          | —          | 2   | —  | —        | 1          | 4         |
| 調査係   | —            | —          | 2<br>(1)   | 3   | 1  | 1        | 10         | 17<br>(1) |
| 計     | 1            | 2          | 2<br>(1)   | 5   | 1  | 1        | 11         | 23<br>(1) |

##### 2 施設

| 区分             | 館長<br>所長 | 次長<br>同相当職 | 係長<br>同相当職 | 主任職      | 係員       | 嘱託<br>職員 | 日々雇用<br>職員 | 計         |
|----------------|----------|------------|------------|----------|----------|----------|------------|-----------|
| 文学館            | 1        | 1          | —          | —        | 2        | —        | 5          | 9         |
| 伝承郷            | 1        | 1          | —          | 1        | 1        | —        | 4          | 8         |
| 勿来関<br>文学歴史館   | 1        | —          | —          | 1        | —        | 1        | 2          | 5         |
| アンモナイト<br>センター | 1        | —          | —          | —        | 1        | 1        | 3          | 6         |
| 考古資料館          | 1        | —          | (2)        | (3)      | 1<br>(1) | —        | 3          | 5<br>(6)  |
| いわき海浜<br>自然の家  | 1        | 1          | 2          | 3        | —        | 1        | 9          | 17        |
| 生涯学習<br>プラザ    | 1        | 2          | 1          | 1        | —        | —        | 6          | 11        |
| 計              | 7        | 5          | 3<br>(2)   | 6<br>(3) | 5<br>(1) | 3        | 32         | 61<br>(6) |

|    |   |   |          |           |          |   |    |           |
|----|---|---|----------|-----------|----------|---|----|-----------|
| 合計 | 8 | 7 | 5<br>(3) | 11<br>(3) | 6<br>(1) | 4 | 43 | 84<br>(7) |
|----|---|---|----------|-----------|----------|---|----|-----------|

|           |   |   |          |           |   |   |    |           |
|-----------|---|---|----------|-----------|---|---|----|-----------|
| 前年度<br>合計 | 8 | 8 | 3<br>(3) | 12<br>(3) | 3 | 4 | 41 | 79<br>(6) |
|-----------|---|---|----------|-----------|---|---|----|-----------|



# 決 算 報 告 書

# 目 次

|                    | ページ |
|--------------------|-----|
| 1 貸借対照表 .....      | 15  |
| 2 正味財産増減計算書 .....  | 16  |
| 3 財務諸表に対する注記 ..... | 19  |
| 4 財産目録 .....       | 21  |



# 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位円)

| 科 目           | 当年度          | 前年度          | 増減          |
|---------------|--------------|--------------|-------------|
| I 資産の部        |              |              |             |
| 1 流動資産        |              |              |             |
| 現金預金          | 246,490,566  | 227,370,168  | 19,120,398  |
| 未収金           | 12,011,249   | 11,596,106   | 415,143     |
| 前払金           | 9,434        | 0            | 9,434       |
| 立替金           | 58,596       | 100,534      | △41,938     |
| 仮払金           | 0            | 0            | 0           |
| 未経過通信運搬費      | 1,220        | 3,970        | △2,750      |
| 未経過租税公課       | 0            | 5,000        | △5,000      |
| 流動資産合計        | 258,571,065  | 239,075,778  | 19,495,287  |
| 2 固定資産        |              |              |             |
| (1) 基本財産      |              |              |             |
| 定期預金          | 10,000,000   | 10,000,000   | 0           |
| 基本財産合計        | 10,000,000   | 10,000,000   | 0           |
| (2) その他固定資産   |              |              |             |
| 器具・備品         | 13           | 13           | 0           |
| リース資産         | 44,748,000   | 0            | 44,748,000  |
| 電話加入権         | 9,000        | 9,000        | 0           |
| その他固定資産合計     | 44,757,013   | 9,013        | 44,748,000  |
| 固定資産合計        | 54,757,013   | 10,009,013   | 44,748,000  |
| 資産合計          | 313,328,078  | 249,084,791  | 64,243,287  |
| II 負債の部       |              |              |             |
| 1 流動負債        |              |              |             |
| 未払金           | 83,140,362   | 72,853,342   | 10,287,020  |
| 未払消費税         | 9,562,900    | 21,076,800   | △11,513,900 |
| 前受金           | 7,612,000    | 0            | 7,612,000   |
| 預り金           | 1,440,224    | 1,066,945    | 373,279     |
| 賞与引当金         | 13,340,789   | 13,439,747   | △98,958     |
| 短期リース債務       | 10,890,642   | 0            | 10,890,642  |
| 流動負債合計        | 125,986,917  | 108,436,834  | 17,550,083  |
| 2 固定負債        |              |              |             |
| 長期リース債務       | 34,434,967   | 0            | 34,434,967  |
| 固定負債合計        | 34,434,967   | 0            | 34,434,967  |
| 負債合計          | 160,421,884  | 108,436,834  | 51,985,050  |
| III 正味財産の部    |              |              |             |
| 1 指定正味財産      |              |              |             |
| 受取出捐金         | 10,000,000   | 10,000,000   | 0           |
| 指定正味財産合計      | 10,000,000   | 10,000,000   | 0           |
| (うち基本財産への充当額) | (10,000,000) | (10,000,000) | 0           |
| 2 一般正味財産      |              |              |             |
| 一般正味財産合計      | 142,906,194  | 130,647,957  | 12,258,237  |
| 正味財産合計        | 152,906,194  | 140,647,957  | 12,258,237  |
| 負債及び正味財産合計    | 313,328,078  | 249,084,791  | 64,243,287  |

# 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位円)

| 科 目                    | 当年度                | 前年度                | 増減                |
|------------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| <b>I 一般正味財産増減の部</b>    |                    |                    |                   |
| <b>1. 経常増減の部</b>       |                    |                    |                   |
| <b>(1) 経常収益</b>        |                    |                    |                   |
| ① 基本財産運用益 (A)          | 1,002              | 1,000              | 2                 |
| 基本財産受取利息               | 1,002              | 1,000              | 2                 |
| ② 事業収益 (B)             | 633,639,622        | 554,371,224        | 79,268,398        |
| 文化財調査受託料               | 169,944,500        | 93,946,360         | 75,998,140        |
| 施設指定管理料                | 455,031,000        | 448,648,000        | 6,383,000         |
| 1 市立草野心平記念文学館          | 76,053,000         | 75,073,000         | 980,000           |
| 2 市草野心平生家              | 3,254,000          | 3,224,000          | 30,000            |
| 3 市暮らしの伝承郷             | 51,056,000         | 49,420,000         | 1,636,000         |
| 4 市勿来関文学歴史館            | 35,798,000         | 36,323,000         | △525,000          |
| 5 市アンモナイトセンター          | 26,147,000         | 25,256,000         | 891,000           |
| 6 市考古資料館               | 17,145,000         | 16,513,000         | 632,000           |
| 7 県いわき海浜自然の家(県)        | 149,482,000        | 148,002,000        | 1,480,000         |
| 8 市生涯学習プラザ             | 96,096,000         | 94,837,000         | 1,259,000         |
| 施設事業受託料                | 8,182,812          | 7,479,214          | 703,598           |
| 1 いわきヒューマンカレッジ         | 3,418,000          | 3,792,800          | △374,800          |
| 2 未来キッズ生き生き事業          | 3,214,552          | 2,842,406          | 372,146           |
| 3 勿来関公園体験学習施設管理事業      | 287,895            | 283,400            | 4,495             |
| 4 心のケアが必要な子ども対象事業      | 634,268            | 560,608            | 73,660            |
| 5 プラザアンケート調査事業         | 628,097            | 0                  | 628,097           |
| 施設利用料                  | 457,140            | 4,296,350          | △3,839,210        |
| 出版物頒布料                 | 24,170             | 1,300              | 22,870            |
| ③ 受取負担金 (C)            | 0                  | 0                  | 0                 |
| 講師派遣料                  | 0                  | 0                  | 0                 |
| ④ 受取寄附金 (D)            | 0                  | 0                  | 0                 |
| 寄附金                    | 0                  | 0                  | 0                 |
| ⑤ 雑収益 (E)              | 1,479,052          | 722,034            | 757,018           |
| 受取利息                   | 3,408              | 5,511              | △2,103            |
| 雑収益                    | 1,475,644          | 716,523            | 759,121           |
| <b>経常収益計 (A~E)=(F)</b> | <b>635,119,676</b> | <b>555,094,258</b> | <b>80,025,418</b> |
| <b>(2) 経常費用</b>        |                    |                    |                   |
| ① 事業費 (G)              | 579,899,558        | 503,064,929        | 76,834,629        |
| 給料手当                   | 114,495,767        | 109,706,969        | 4,788,798         |

(単位円)

| 科 目          | 当年度               | 前年度               | 増減                |
|--------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 賃金           | 141,230,311       | 101,098,406       | 40,131,905        |
| 賞与引当金繰入額     | 11,016,823        | 11,137,897        | △121,074          |
| 共済費          | 42,597,638        | 39,932,432        | 2,665,206         |
| 報償費          | 6,069,623         | 4,943,200         | 1,126,423         |
| 旅費           | 6,444,857         | 2,590,422         | 3,854,435         |
| 消耗品費         | 21,047,163        | 15,717,882        | 5,329,281         |
| 被服費          | 362,414           | 505,708           | △143,294          |
| 燃料費          | 4,504,789         | 7,374,194         | △2,869,405        |
| 食糧費          | 344,817           | 339,473           | 5,344             |
| 印刷製本費        | 17,042,134        | 17,687,155        | △645,021          |
| 光熱水費         | 24,119,429        | 28,199,905        | △4,080,476        |
| 修繕費          | 13,436,723        | 12,278,960        | 1,157,763         |
| 医薬材料費        | 0                 | 49,779            | △49,779           |
| 通信運搬費        | 6,125,838         | 5,498,035         | 627,803           |
| 広告料          | 542,559           | 558,712           | △16,153           |
| 手数料          | 1,422,898         | 1,691,039         | △268,141          |
| 保険料          | 920,902           | 925,923           | △5,021            |
| 委託料          | 89,265,336        | 83,090,348        | 6,174,988         |
| 使用料及び賃借料     | 33,475,361        | 17,583,620        | 15,891,741        |
| 工事請負費        | 1,631,253         | 622,980           | 1,008,273         |
| 原材料費         | 960,621           | 243,076           | 717,545           |
| 負担金          | 267,990           | 307,242           | △39,252           |
| 公租公課         | 26,669,566        | 24,237,084        | 2,432,482         |
| 消耗什器備品費      | 3,379,421         | 2,110,130         | 1,269,291         |
| 減価償却費        | 11,187,000        | 14,326,701        | △3,139,701        |
| 支払利息         | 1,338,325         | 307,657           | 1,030,668         |
| <b>② 管理費</b> | <b>42,961,881</b> | <b>44,190,957</b> | <b>△1,229,076</b> |
| 報酬           | 257,300           | 190,900           | 66,400            |
| 給料手当         | 20,572,236        | 20,553,787        | 18,449            |
| 賃金           | 3,895,541         | 3,758,976         | 136,565           |
| 賞与引当金繰入額     | 2,323,966         | 2,301,850         | 22,116            |
| 共済費          | 6,068,974         | 5,985,196         | 83,778            |
| 報償費          | 146,000           | 135,600           | 10,400            |
| 旅費           | 97,113            | 378,867           | △281,754          |
| 交際費          | 10,000            | 25,000            | △15,000           |
| 消耗品費         | 867,768           | 968,262           | △100,494          |
| 燃料費          | 34,606            | 66,719            | △32,113           |

(単位円)

| 科 目                            | 当年度                | 前年度                | 増減                |
|--------------------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| 食糧費                            | 48,832             | 18,025             | 30,807            |
| 印刷製本費                          | 982,410            | 2,570,855          | △1,588,445        |
| 光熱水費                           | 80,311             | 84,338             | △4,027            |
| 修繕費                            | 608,000            | 387,244            | 220,756           |
| 通信運搬費                          | 268,771            | 262,768            | 6,003             |
| 広告料                            | 88,000             | 0                  | 88,000            |
| 手数料                            | 461,333            | 548,316            | △86,983           |
| 保険料                            | 78,230             | 55,690             | 22,540            |
| 委託料                            | 1,176,655          | 600,059            | 576,596           |
| 使用料及び賃借料                       | 638,111            | 1,031,949          | △393,838          |
| 原材料費                           | 0                  | 0                  | 0                 |
| 負担金                            | 552,250            | 591,910            | △39,660           |
| 補償費                            | 0                  | 0                  | 0                 |
| 公租公課                           | 3,705,474          | 3,210,666          | 494,808           |
| 消耗什器備品費                        | 0                  | 463,980            | △463,980          |
| <b>経常費用計 (G+H) = (I)</b>       | <b>622,861,439</b> | <b>547,255,886</b> | <b>75,605,553</b> |
| <b>当期経常増減額 (F-I) = (J)</b>     | <b>12,258,237</b>  | <b>7,838,372</b>   | <b>4,419,865</b>  |
| <b>2. 経常外増減の部</b>              |                    |                    |                   |
| (1) 経常外収益                      |                    |                    |                   |
| 経常外収益計 (K)                     | 0                  | 0                  | 0                 |
| (2) 経常外費用                      |                    |                    |                   |
| ① 過年度損益修正損                     |                    |                    |                   |
| リース料修正損                        | 0                  | 0                  | 0                 |
| 経常外費用計 (L)                     | 0                  | 0                  | 0                 |
| <b>当期経常外増減額 (K-L) = (M)</b>    | <b>0</b>           | <b>0</b>           | <b>0</b>          |
| <b>当期一般正味財産増減額 (J+M) = (N)</b> | <b>12,258,237</b>  | <b>7,838,372</b>   | <b>4,419,865</b>  |
| 一般正味財産期首残高 (O)                 | 130,647,957        | 122,809,585        | 7,838,372         |
| 一般正味財産期末残高 (N+O) = (P)         | 142,906,194        | 130,647,957        | 12,258,237        |
| <b>II 指定正味財産増減の部</b>           |                    |                    |                   |
| 基本財産運用益                        | 1,002              | 1,000              | 2                 |
| 一般正味財産への振替額                    | △1,002             | △1,000             | △2                |
| <b>当期指定正味財産増減額 (Q)</b>         | <b>0</b>           | <b>0</b>           | <b>0</b>          |
| 指定正味財産期首残高 (R)                 | 10,000,000         | 10,000,000         | 0                 |
| 指定正味財産期末残高 (Q+R) = (S)         | 10,000,000         | 10,000,000         | 0                 |
| <b>III 正味財産期末残高 (P+S)</b>      | <b>152,906,194</b> | <b>140,647,957</b> | <b>12,258,237</b> |

# 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

平成26年度より公益法人会計基準（平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）

(2) 固定資産の減価償却方法

器具・備品 定率法

リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

期末在職者の退職金支給に備えるため、中小企業退職共済制度に加入しており、同制度による給付額と退職金要支給額が同額であるため、退職給付引当金は計上していない。

・賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引（所有権移転外ファイナンスリース）

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、重要性の乏しいリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

## 2 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

| 科 目  | 前期末残高       | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高       |
|------|-------------|-------|-------|-------------|
| 基本財産 |             |       |       |             |
| 定期預金 | 10,000,000円 | 0円    | 0円    | 10,000,000円 |
| 合 計  | 10,000,000円 | 0円    | 0円    | 10,000,000円 |

### 3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

| 科 目  | 当期末残高       | (うち指定正味財産<br>からの充当額) | (うち一般正味財産<br>からの充当額) | (うち負債に<br>対応する額) |
|------|-------------|----------------------|----------------------|------------------|
| 基本財産 |             |                      |                      |                  |
| 定期預金 | 10,000,000円 | (10,000,000円)        | (0円)                 | —                |
| 合 計  | 10,000,000円 | (10,000,000円)        | (0円)                 | —                |

### 4 固定資産の取得価額、減価償却及び償却額累計額及び当期末残高及び減損損失

固定資産の取得価額、減価償却及び減損損失累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

| 科 目   | 取得価額        | 減価償却及び<br>減損損失累計額 | 減価償却        | 当期末残高       |
|-------|-------------|-------------------|-------------|-------------|
| 器具・備品 | 7,541,762円  | 7,541,749円        | 0円          | 13円         |
| リース資産 | 55,935,000円 | 0円                | 11,187,000円 | 44,748,000円 |
| 電話加入権 | 449,904円    | 440,904円          | 0円          | 9,000円      |
| 合 計   | 63,926,666円 | 7,982,653円        | 11,187,000円 | 44,757,013円 |

### 5 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

| 科 目 | 債権金額        | 貸倒引当金の<br>当期末残高 | 債権の当期末残高    |
|-----|-------------|-----------------|-------------|
| 未収金 | 12,011,249円 | 0円              | 12,011,249円 |
| 合 計 | 12,011,249円 | 0円              | 12,011,249円 |

### 6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

| 内 容              | 金 額    |
|------------------|--------|
| 経常収益への振替額        |        |
| 基本財産運用益 基本財産受取利息 | 1,002円 |
| 合 計              | 1,002円 |

# 財 産 目 録

令和3年3月31日現在

(単位：円)

| 貸借対照表科目        | 場所・物量等          | 使用目的等           | 金 額                |
|----------------|-----------------|-----------------|--------------------|
| <b>(流動資産)</b>  |                 |                 |                    |
| 現金             | 事務局、施設7か所       | 手許保管            | 255,536            |
| 郵便振替           | ゆうちょ銀行          | 運転資金            | 108,719            |
| 預金             | 普通預金            |                 |                    |
|                | 東邦銀行湯本支店        | 運転資金            | 202,448,361        |
|                | 東邦銀行湯本支店        | 運転資金            | 0                  |
|                | 東邦銀行湯本支店        | 運転資金            | 0                  |
|                | いわき信用組合湯本支店     | 運転資金            | 2,449,075          |
|                | いわき信用組合湯本支店     | 運転資金            | 1,042,793          |
|                | 大東銀行湯本支店        | 運転資金            | 88,141             |
|                | 福島銀行湯本支店        | 運転資金            | 97,941             |
|                | 大和初社銀行おイ支店      | 運転資金            | 0                  |
|                | 定期預金            |                 |                    |
|                | いわき信用組合湯本支店     | 運転資金            | 10,000,000         |
|                | 大東銀行湯本支店        | 運転資金            | 10,000,000         |
|                | 福島銀行湯本支店        | 運転資金            | 10,000,000         |
|                | 大和初社銀行おイ支店      | 運転資金            | 10,000,000         |
| 未収金            | いわき市、伊達市、広野町等   | 文化財調査受託料未収等     | 12,011,249         |
| 前払金            | 職員              | 市外出張旅費          | 9,434              |
| 立替金            | いわき市            | 2月分藤原収蔵庫電気料金    | 58,596             |
| 未経過通信運搬費       | 切手              | 在庫              | 1,220              |
| 未経過租税公課        | 印紙              |                 | 0                  |
| <b>流動資産合計</b>  |                 |                 | <b>258,571,065</b> |
| <b>(固定資産)</b>  |                 |                 |                    |
| <b>基本財産</b>    |                 |                 |                    |
| 定期預金           | 東邦銀行湯本支店        | 市出捐金            | 10,000,000         |
| <b>その他固定資産</b> |                 |                 |                    |
| 器具・備品          | カメラ等            | 公1事業目的保有財産      | 13                 |
| リース資産          | パソコンインフォメーション機器 | 公2事業目的保有財産      | 44,748,000         |
| 電話加入権          |                 | 公1・法人会計事業目的保有財産 | 9,000              |
| <b>固定資産合計</b>  |                 |                 | <b>54,757,013</b>  |
| <b>資産合計</b>    |                 |                 | <b>313,328,078</b> |
| <b>(流動負債)</b>  |                 |                 |                    |
| 未払金            | 人件費             | 日々雇用職員3月分賃金等    | 13,120,748         |
|                | 物件費             | 業者に対する未払額       | 70,019,614         |
| 未払消費税          | いわき税務署          | 2年度消費税          | 9,562,900          |
| 前受金            | 本宮市             | 文化財調査受託料前受      | 7,612,000          |
| 預り金            | 所得税、市県民税、社会保険料等 |                 | 1,440,224          |
| 賞与引当金          | 職員              |                 | 13,340,789         |
| 短期リース債務        |                 |                 | 10,890,642         |
| <b>流動負債合計</b>  |                 |                 | <b>125,986,917</b> |
| <b>(固定負債)</b>  |                 |                 |                    |
| 長期リース債務        |                 |                 | 34,434,967         |
| <b>固定負債合計</b>  |                 |                 | <b>34,434,967</b>  |
| <b>負債合計</b>    |                 |                 | <b>160,421,884</b> |
| <b>正味財産</b>    |                 |                 | <b>152,906,194</b> |